

〔東西融合医療同志会設立の趣旨〕

新宿漢方クリニック 院長 川並 汪一

趣旨

西洋と東洋の医学が互いに補完しあい総合的視野から健康長寿社会を実現する。
その趣旨に賛同する諸氏と同志会を結成し東西融合医療を実践するモデルとなる。

その背景

明治16年の医療制度改革のとき、東洋医学（漢方と鍼灸）は医学界から完全に離断されました。
2001年に漢方が医学部教育で見直されたものの、鍼灸はその教育と保険制度で差別されています。

現代社会は、治療が行き届かぬ難病や多彩な老年症候群に悩む患者さんで溢れつつあります。
これらの患者さんに漢方と鍼灸が大きな治療効果をもたらす事実は、世界保健機関（WHO）やアメリカ国立衛生研究所（NIH）が全世界に公表し、その著しい有用性を通達しております。
しかしながら本邦の医療界では、そこまでの理解と実際上の応用に至っていないのが現状です。

鍼灸漢方「Acupuncture & Herbal Medicine」を日常診療で体験してみるとその効果は明らかです。
外部から五臓六腑を刺激する鍼灸と、内部から臓器活性を促す漢方の効能は計り知れないものです。
現代医学と東洋医学を日常的に応用し活躍させる新たな多職種連携を生み出しませんか。そうすることで高齢社会の未病対応による健康維持、各種の病的悩みに多様な対応ができることとなります。
家庭医や鍼灸師の従来の活動概念を広げ、より大きな社会貢献ができることになると信じます。

東西融合医療の同志会

上記の趣旨に賛同する医師、鍼灸師、薬剤師、一般の方で同志会（メンバー）をつくる。

この融合医療同志会は新宿漢方クリニックが主催し事務所を同クリニック内に置く。（年会費3,000円）

同志会メンバーの特典

メンバー同士が東西医療に関する話題を提供し切磋琢磨し、趣旨を実現する機会を設ける。

一方、新宿漢方クリニックとしては、

- 1) 患者さんまたは本人の病態に関するセカンドオピニオンの依頼に対し、融合医療に基づく幅広い情報を優先的に短時間に提供致します。
- 2) 必要に応じ最適と思われる専門病院や大学病院専門医に、診療情報や紹介状を特別価格にて速やかに提供致します。
- 3) ネット遠隔診療方式を介し処方箋・生薬・健康食品などを特別価格で優先的に提供致します。